

美術館・ギャラリーカレンダー（保存版）

※黒文字は有料施設、黄土色は無料施設

施設名	1月	2月
米子市美術館 ●TEL/0859-34-2424 ●休館日/毎週水曜日(祝祭日の翌日) ※年末年始(～1/4休館) ●開館時間/10:00～18:00	1/20(土)～2/4(日) 10:00～18:00 平成18年度 共同企画・郷土作家展「海と空と 角護・石谷孝二」 ●入館料/一般=180(150)円 ※()内は20名以上の団体料金 ※小・中学生、高校生、学生の方、70歳以上の方、障がいのある方、要介護者及びその介護者及び、学校教育活動での引率者は無料	2/11(日・祝)～3/18(日) 10:00～18:00 小企画展「小早川秋聲 -戦争と未来-」 ●入館料/一般=500(400)円、高校・大学生=200(150)円、中学生以下=無料 ※()内は前売り・15名以上の団体・70歳以上の方、障がいのある方(介護者1名含む)の料金。 2/18(日) 14:00～15:30 第6回ミュージアムスクール「学芸員レクチャー 秋聲と戦争画」無料
丸京庵市民ギャラリー ●TEL/0859-31-0285 ●休館日/毎週火曜日、第2・第4水曜日 ●開館時間/10:00～18:00 ●入館料/無料 ※年末年始休館	～1/8(月) ことばのミュージアム3 1/11(木)～1/15(月) 手作り作品展 1/17(水)～29(月) 大山の四季 写真コンテスト作品展	2/15(木)～19(月) 第二回 山陰新協作品展 2/22(木)～26(月) 第十回 絵を描く仲間たち展
コミュニティプラザ百花堂 ●TEL/0859-35-3911 ●開館時間/10:00～18:00(最終日 4:00まで) ●休館日/なし ●入館料/無料	1/2(火)～14(日) アジアのチビッコ画伯展 1/16(火)～21(土) 米寿を祝う 澄江・七重の母娘展 1/26(金)～28(日) 岩佐順江 あみもの展 1/30(火)～2/12(月) 百花堂年賀状展	2/20(火)～25(日) 田部美穂子 ろうけつ染 絵画展
本の学校・郁文塾 ●TEL/0859-31-5001 ●開館時間/展示部分(二階施設/平日10:00～17:50 日曜日・祝祭日10:00～16:50) ●休館日/なし ●入館料/無料	～1/15(月) 新春絵だより・色紙展 2階ロビー 無料 1/20(土) 14:00～15:00 おはなしタイム 2階 多目的ホール 無料	2/17(土) 14:00～15:00 おはなしタイム 2階 多目的ホール 無料
皆生温泉素鳳ふるさと館 ●TEL/0859-34-2888 ●開館時間/9:00～17:00 ●休館日/毎月第2・第4火曜日 ●入館料/中学生以上250円 小学生以下無料	～1/8(月) 「バードカービングと写真展」 1/11(木)～2/12(月) 「門脇和弘組子細工展」	2/14(水)～3/11(日) 「浅田重子遺作展」
白鳳の里どんぐり館 ●TEL/0859-56-6798 ●開館時間/10:00～18:00 ●入館無料 ●休館日/年中無休(臨時休館あり)	1/1(月)～31(水) かきかた工房新春書のポストカード展 ポストカードの展示 日展入選書家森田尾山先生が主催 1/7(日) 七草粥サービス 11:00～18:00 レストラン上定で食事をされた方に	2/1(木)～28(水) 「大山写真展」 地元のカメラマンたちが撮った様々な山容の大山の写真を展示
NHK米子支局 1階 展示ギャラリー ●TEL/0859-22-6121 ●開館時間/10:00～17:00 ●休館日/なし ●入館料/無料		2/16(金)～21(水) NHK文化センター 第11回植田正治「写真教室」展 2/23(金)～27(火) NHK文化センター 第5回島田水墨画教室作品展
海とくらしの史料館 ●TEL/0859-44-2000 ●開館時間/9:30～17:00 ●休館日/火曜日(祝日の場合は翌日) ※～1/2休館	～1/8(月) 「魚の絵コンテスト」入賞作品展 橋本興家 版画展「新春雪景色」 ●入館料/大人400円 小・中・高・障100円 ～1/10(水) 1/11(木)～2/4(日) 橋本興家版画展 [中庭展示室] 「由木 毅」水中写真展 無料	
植田正治写真美術館 ●TEL/0859-39-8000 ●開館時間/9:00～17:00 ●休館日/火曜日(祝祭日の場合は翌日)、12/29～1/1(1/2は開館)	～1/21(日) UEDA-CHO:写真するよろこびの軌跡 今回は、初期から晩年までを通して代表作を中心に構成した展覧会です。「写真するよろこび」を体現した植田正治の70年の軌跡を、あらためて大きくご紹介いたします。 ●入館料/一般800円 高校・大学生500円 小・中学生300円	1/27(土)～4/22(日) わが風土記-山陰の風と光
とっとり花回廊 ●TEL/0859-48-3030 ●開園時間/9:00～16:30(12月～3月) ●休園日/火曜日休園(祝日の場合は翌日) ※2/27は営業します	●入園料/12月～3月迄 700円 (小中学生350円) 1/13(土)～2/12(月) [ゆりの館ギャラリー] 写真展「とっとり花回廊の風景」	2/24(土)～3/4(日) [ドームギャラリー] 米子洋らんの会展示会
日南町美術館 ●TEL/0859-77-1113 ●開館時間/8:30～17:00 ●休館日/月曜日 ※～1/4と1/9休館	～1/28(日) 「佐武コレクション・足羽俊夫作品」児童画展 「日野町児童画展・全国教育美術展(選抜)」 日野町内の小学生を対象にした「日野町児童画コンクール」に入賞した児童画96点を展示。 ●入館料/一般200円 高校生100円 中学生以下無料	2/3(土)～3/25(日) 「日南町地質と化石展」 日南町多里地区にある1600万年～1400万年前の地層から発見された動物化石を展示。
島根県立美術館 ●TEL/0852-55-4700 ●開館時間/10:00～18:30 ●休館日/火曜日 12/28～1/1(1/2は開館)	1/2(火)～2/26(月) 版画の国日本 没後10年 平塚運一展 10:00～18:30(展示室への入場は18:00まで) [企画展示室] ●一般500(400)円 大学生300(240)円 高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金*障害者手帳をお持ちの方、及びその付添人は無料 *前売券はありません*コレクション 展料金を含みます	
モニュメントミュージアム来待ストーン ●TEL/0852-66-9050 ●開館時間/9:00～17:00 ●休館日/毎週火曜日(祝日の場合翌日) ※～1/2(土) 休館	～1/15(月) 第9回世界のストーンコレクション 所蔵の銘石・美石を一堂に展示。桜石や氷室の火打ち石など県内を初め日本各地の石、メノウ、ガーネット、砂漠のバラといった世界の宝石原石、銘石、化石を展示。 ●入場料/一般300円 小中学生150円 1/19(金)～1/21(日) 9:30～17:00 来待石「石の絵付けコンテスト」見学無料 [来待ストーン体験工房] 世界のストーンコレクション期間中に入館していただいた皆様に描いていただいた、作品を展示。優秀賞には素敵な賞品があります。 1/19(金)～1/22(月) 9:30～17:00 夢工房新春初業展見学無料 [来待ストーン陶芸館(夢工房)] 2/4(日)・2/11(日)・2/18(日)の3日間(予定) 9:00～17:00 第30回本物を作る教室 [来待ストーン体験工房]	
足立美術館 ●TEL/0854-28-7111 ●開館時間/9:00～17:00 ●年中無休	～2/28(水) 冬季特別展 「日本画の開拓者たち」 明治以降の西歐化にともない、西洋絵画を範とする「西洋画」に対して伝統的な日本の絵画を総称して「日本画」と呼ぶようになり、多くの画家が新たな日本画の発展に取り組みました。本展では、明治・大正・昭和と日本画壇に多大なる影響を及ぼした横山大観、西洋絵画と円山四条派を融合し昇華した竹内栖鳳、美人画の確立、発展に寄与した上村松園、伊東深水、花鳥画の名手柳原紫峰など、日本画の開拓者といえる画家たちの名品を展示いたします。 ●入館料/大人2,200円(1,800円) 大学生1,700円(1,400円) 高校生900円(700円) 小中学生400円(300円) ※()は20名以上の団体料金	

■ 郷土作家展「海と空と 角護・石谷孝二」 1/20(土)～2/4(日) 米子市美術館

■ 小企画展「小早川秋聲 -戦争と未来-」 2/11(日・祝)～3/18(日) 米子市美術館



角護(或る日のダイイング'06) 2004年 石谷孝二「想雲」2004年
境港市在住の洋画家・角護(すみまもる 1943年～)と、鳥取市在住の彫刻家・石谷孝二(いしたに こうじ 1952年～)をとり上げます。



小早川秋聲(國之橋) 1944年
京都墨山護國神社蔵 日南町美術館寄託

大正から終戦までの期間、京都画壇で活躍した郷土ゆかりの日本画家・小早川秋聲(こばやかわしゅうせい/1885～1974)の画業を紹介します。



シリーズ「出雲」より 1964年～80年 ©Shoji Ueda Office

■ 版画の国日本 没後10年 平塚運一展 1/2(火)～2/26(月) 島根県立美術館 企画展示室

松江市出身の平塚運一(1895-1997)が亡くなって早くも10年。版画三昧の102年の生涯は、版画の制作と日本の版画芸術の向上と普及に捧げられました。自画、自刻、自摺という創作版画の鉄則を生涯貫き、珠玉の作品を次々生み出しました。この展覧会では、平塚の最初期の作品から絶筆にいたるまで、これまでの平塚運一展では最大の350点を展示し、その芸術を回顧します。
●問い合わせ/TEL.0852-55-4700

■ わが風土記-山陰の風と光 1/27(土)～4/22(日) 植田正治写真美術館

鳥取砂丘を舞台とした演出写真で有名な植田正治ですが、神話の国出雲を舞台に撮影した作品も数多く残っています。山陰の風土を体にしみこまされた植田がとらえた「出雲」の姿は、まさに「国引き」や「八雲立つ国」をも思わせます。
●問い合わせ/TEL.0859-39-8000



「雪のニホライ」1930年